

## 1 学習活動にはふさわしい学習形態がある

## 学習形態とは？

学習活動を進めるときには、学習活動のねらいを実現するためにふさわしい学習形態を考えることが大切です。

例えば、意見交流の場面において、生徒の実態に応じてグループ学習やペア学習を取り入れる、また、問題解決の過程において、個別学習等で考えを確認させてから、クラス全体で意見を発表し合う機会を設けるといように、学習活動に合った形態を取り入れることが必要です。

## ☆グループ学習とは

4人程度の少人数グループを作って話し合い活動を中心に行う学習です。

生徒の学習への意欲を高め、人間関係やコミュニケーション能力を育成することが期待できます。

一斉授業では、発表する生徒の人数は限られ、その他の生徒は聞き役になりがちです。全体の場で意見を言うことが苦手な生徒も、グループの中では自分の意見を気軽に話し合ったり、質問し合ったりすることも可能です。

## 目標に合った学習活動

一斉講義型の授業だけでは、「生徒主体の学びによる授業」にはなりません。しかし、様々な活動をさせることだけが目的になってしまうと、活動しただけで何も学びがなかった・・・ということにもなりかねません。学習目標に合った学習形態や学習活動を工夫して、生徒の主体的な学びにつながる授業づくりを心掛けましょう。

## 机の配置の工夫

学習活動の内容に応じた机の配置を工夫することで、生徒の学習意欲が高まり、学習効果が上がります。

例えば、クラス全体での意見交流の場面で、机をコの字型に配置すると、互いの顔が見えて活発な意見交換につながります。グループ活動場面では、机を向き合わせることでグループとしての一体感が生まれ、活動に取り組もうとする意欲につながります。

個別支援  
が必要な  
生徒への  
対応を考  
えよう

## 学習に取り組みやすい環境づくりを！

座席の位置を配慮することで、落ち着いて授業に参加できる生徒もいます。前を向く講義型の座席であれば、多動な生徒は、他の生徒の動きが目に入らない教室前方の座席を指定する方が落ち着いて過ごせるといわれています。

後ろからの視線が不安で不登校気味だった生徒に対して、全ての教科で座席をできるだけ後方にする配慮をしたところ、少しずつ学校に登校できるようになったケースもあります。



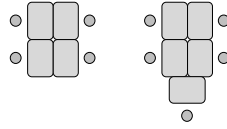
## 机の配置による学習形態の違い

### ペア型



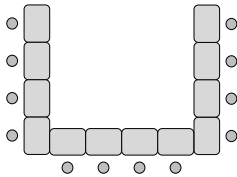
- グループでの活動が苦手な生徒に有効。
- 生徒全員が、話したり聞いたりする活動ができる。
- 気軽に意見交流ができ、自分の考えの確認がしやすい。

### 班型



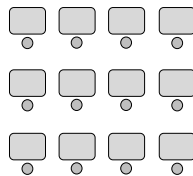
- 班員が知恵を出し合って、話し合うことができる。
- 手元の教材を互いに見合いながら学習できる。

### コの字型



- 生徒が互いの顔を見ながら学習することができる。
- 教師は各生徒の座席近くで学習状況を把握できる。

### 講義型

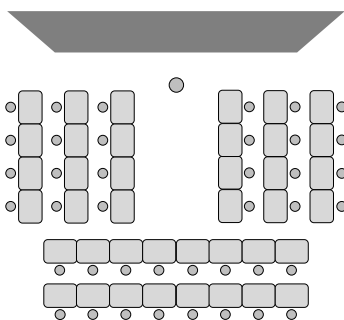


- 生徒全員が同じように黒板を見ることができる。
- 教師は生徒の学習状況を、一望することができる。

日常的に、次のような「コの字型」に机を配置して授業をしている学校があります。そしてグループ活動を行う際には、授業中の短い時間で机を移動し、「班型」の形態へ変形させます。

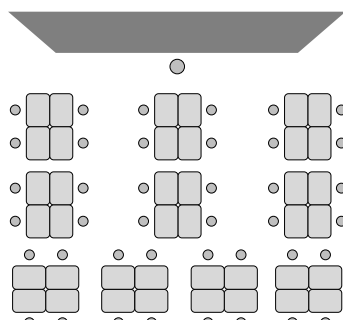
机の配置を工夫することで、全体での講義からグループでの意見交流へ、そして全体での協議という学習活動が効果的に行われています。

### コの字型



クラス全体での学習活動

### 班型



班内での学習活動

## ☆話合いの形態と人数

人数にきまりはありませんが、話合いの目的によってそれに適した人数規模があります。その時間のねらいを明確にした上で、適切な学習形態を選ぶよう、構想しましょう。

(例)

### 2人

- スキルの練習
- テスト
- 確認
- インタビュー

### 3人～4人

- 意思決定
- 課題解決
- 実験

### 5人～6人

- 情報交換
- アイデアの共有
- 発表

## 立ったまま行うグループ活動

模造紙やワークシートを壁に貼って、机や椅子を使わずに、立ったまま議論するグループワークがあります。このようなスタイルで会議をする企業もたくさんあります。立ったままのグループワークは、無駄話が減り、スピーディーに話合いが進んで、議論が深まるという利点があります。

研究成果の発表会等は、椅子に座って聞くことが多いですが、ポスターセッションのように、聞きたいと思う発表者の所へ聞き手が移動し、活発に意見交換をするものもあります。

具体的な活動については、5章—12の探究的な学習における学習指導例を参考にしてみましょう。